

2020 年 7 月 2 日 ~ 2022 年 3 月 31 日の間に 当科において腹部 MRI 検査を受けられた 20 歳以上の方 及びご家族の方へ

「マルチパラメトリック MRI を用いた脾臓の加齢性変化の検討」 へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	放射線診断学	講師	神吉 昭彦
研究分担者	放射線診断学	講師	檜垣 篤
	放射線診断学	講師	外園 英光
	放射線診断学	臨床助教	前場 淑香
	放射線診断学	大学院生	中村 博貴
	放射線診断学	准教授	山本 亮
	放射線診断学	特任教授	福倉 良彦
	放射線診断学	教授	玉田 勉

1. 研究の概要

脾臓は加齢により萎縮や線維化、脂肪沈着が増加します。従来の画像診断は形態評価のための方法でしたが、拡散強調画像では疾患の定量的評価が可能であり、拡散強調画像が組織の微小構造と密接に関連していることから、組織弾性に関する情報も得られる可能性があると考えられており、最近では肝臓での拡散強調画像を用いて仮想エラストグラフィ(組織の硬さを画像化または数値化して評価する手法)に変換できる可能性があることが報告されています。拡散強調画像を用いた脾臓の弾性力についての検討は今までになされておらず、加齢による脾臓の変化を評価することで、簡便で非侵襲的に脾臓の弾性力が評価できれば、早期脾臓癌の検出や良悪性の診断に有用性があると考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2020 年 7 月 2 日から 2022 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において腹部 MRI の検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2022 年 7 月 8 日 ~ 2024 年 3 月 31 日

3) 研究方法

2020 年 7 月 2 日から 2022 年 3 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において腹部 MRI の検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに脾臓のデータを選び、MRI 画像所見に関する分析を行い、脾臓の加齢性変化について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、MRI 画像 等

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学放射線診断学医局内のパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくく点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 放射線科(画像診断)

氏名：神吉 昭彦

電話：086-462-1111 内線 44569（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-464-1123

E-mail：ponbon@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。